

実証運行成功させ 屋代線を存続させよう

屋代線の実証運行が7月1日よりスタート



国の制度を活用し「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」により、長野電鉄活性化協議会が平成21年5月1日に設置され、これまで7回開催されています。この協議会の決定に基づき18の実証事業を行います。この実証事業の成否で屋代線の存廃が決まると言っても過言ではありません。

◆屋代線の現状

屋代線は、大正11年に開通し、地域の重要な交通機関として役割を果たしてきましたが、昭和40年度の330万人の旅客数をピークに平成19年度には、その14.7%となる48万人まで落ち込んでいます。また、年間約1億7千万円の赤字をだしており、累積赤字は、50億円を超えています。さらに、今後、10年間に車両の更新、変電所、線路等の施設の更新に30億円以上の投資が必要となっており、長野電鉄(株)では、こうした状況を打開すべく、人員の削減を始めとする経営の合理化やイベント列車の運行など、各種の特徴ある事業を展開し活性化に努めてきましたが、自助努力は限界に近づいており、長野電鉄(株)単独での存続は、大変厳しい状況にあります。

屋代線の年間利用者数

| | | |
|---------|---|---------|
| 現状(H20) | ⇒ | 目標(H24) |
| 47万人 | | 60万人 |

屋代線沿線の約2万1千世帯のうち、家族誰か一人が年間6回/片道を利用すれば達成できます。(13万人：27%増)

■なくなって(廃止)からでは

いま全国では鉄道の廃止が相次ぎ、平成12年度以降33路線、634.6kmの鉄道が廃止されました。長野県内では長野電鉄木島線が平成14年4月1日に廃止となり、鉄道の廃止は地域に大きな衝撃を与えました。

また、鉄道がなくなってもバスによる代替輸送があると思う方もいらっしゃいますが、バス輸送に切り替えた場合、鉄道を使っていた人の6割近くにまで輸送人員が減少するのも全国的な例です。さらに地域によってはバスさえなくなってしまう場合もあります。鉄道だからこそ、時間も正確に多くの利用客を輸送できるのです。

■住民のパワーで再生された鉄道も

しかし、鉄道の廃止問題から地域住民のパワーで再生された鉄道も少なくありません。例えば平成15年に南海電鉄が貴志川線の廃止検討を表明しましたが、存続に向けた住民の要請が高まり、関係者で議論した結果、沿線自治体が鉄道用地を買い取り、公募により決定した岡山電気軌道が和歌山電鐵を設立して運行を引き継ぎ、ねこの「たま駅長」で有名になり再生をはたしています。その他にも福井鉄道・富山ライトレール・えちぜん鉄道・上田交通別所線など、それぞれの創意工夫で活性化しています。

鉄道存続へのポイントは沿線住民の熱意と行動です。



すざか



いのうえ



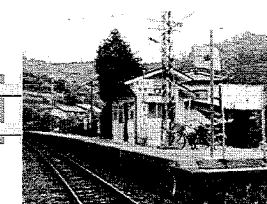
わたうち



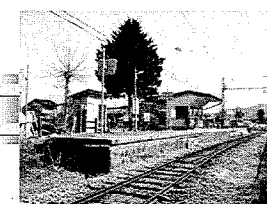
わかほ



しなのかわだ



おおむろ



かないやま

実証事業の主な概要

- **電車の増便が行なわれます**
 - 1日3往復の増便をします。
 - 上り 屋代駅発 8:48 11:21 14:35
 - 下り 須坂駅発 8:31 10:16 13:28
 - 【実施期間】平成22年7月1日(木)～7月31日(土)
- **現状の最終便よりも遅い電車を増発します。(須坂発松代折り返しのみ)**
 - 須坂発(松代行) 22:33
 - 松代発(須坂行) 23:05
 - 【実施期間】平成22年7月1日(木)～7月31日(土)
- **サイクルトレイン(自転車を電車に持ち込めます)を昼時間行います**
 - 9:25～15:52において、電車内に自転車を持ち込めます。
 - 持ち込み無料です。
 - 屋代・東屋代・雨宮・岩野・象山口・松代・金井山・大室・信濃川田・若穂綿内・井上・須坂の屋代線全駅で乗り降りできます。
 - ※乗車は列車最後部ドアより、屋代・須坂駅は自転車を押して階段を昇り降りする必要があります。
 - 【実施期間】平成22年7月1日(木)～7月31日(土)
- **サイクルアンドライド駐車場の整備**
 - 東屋代・岩野・象山口・大室へ新規に駐輪場が設置されます。
 - 【実施期間】平成22年7月1日(木)～平成23年3月31日(木)
- **持参人式通勤定期の販売(通学定期は対象外です)**
 - 購入者以外でも、所持していれば誰でも利用できる定期券です。
 - 須坂・松代・屋代及び長野駅にて販売しています。
 - この定期券は平成22年9月30日までですので、購入の際はご注意ください。
 - 定期券利用区間に屋代線が含まれている場合に限り購入できます。
 - 【実施期間】平成22年7月1日(木)～9月30日(木)
- **バスによる増便で運行頻度を増やします**
 - 電車の不足により、電車での増便が限界があるため沿線にバスを走らせます。
 - 運賃は電車と同額です。
 - 松代駅又は須坂駅においてバス⇄電車を連続して乗継をする場合、乗車場所から最終目的地の降車場所まで初乗り運賃では乗車できますが、精算はバス車内及び駅で行えます。詳しくは車内の案内表示をご覧ください。か、乗務員にお尋ね下さい。
 - 【実施期間】平成22年8月1日(日)～9月30日(木)

- **割引回数券の販売があります**
 - 2,300円分の回数券が2,000円になります。
 - 須坂・松代・屋代駅にて6月26日(土)より販売しています。
 - 100円券10枚つづり、50円券26枚つづり
 - 乗車時又は降車時のどちらかで屋代線を利用する場合に限り利用できます。
 - 【利用可能期間】平成22年7月1日(木)～9月30日(木)
 - **屋代線を利用する周遊割引キップが販売されます**
 - 長野・松代往復乗車券を1,200円で販売
 - 【利用期間】平成22年7月1日(木)～9月30日(木)
 - 軽井沢・小布施フリーキップ 大人:3,500円 小人:1,750円
 - 【利用期間】平成22年4月1日(木)～平成23年1月1日(土)
 - 千曲川湯っくりフリーキップ 大人:2,500円 小人:1,250円
 - 【利用期間】平成22年9月18日(土)～平成23年1月11日(火)
 - 湯っ蔵んどセットクーポン 大人:1,350円 小人:780円
 - 【利用期間】通年販売
- ※上記は須坂・松代・屋代及び長野線の有人駅にて販売
- 信州北回廊パス 大人:2500円 小人:1,250円
 - 長野電鉄全線のほか長野県北信地域のJR線、しなの鉄道線、川中島バス(一部)が乗り降り自由
 - 【利用期間】通年販売
- ※信州北回廊パスのみ、長野県内のJR東日本の主要駅びゅうプラザにて販売
- **ご意見箱を設置しています**
 - 屋代線列車内、須坂・松代・屋代駅などに設置されています。



この他の事業概要については、屋代線沿線世帯に配布されています屋代線の総合連携計画に基づく平成22年度事業のパンフレットをご参照いただくか、長野市・須崎市・千曲市・長野電鉄にお問い合わせください。

長野地区公共交通対策会議
 連絡先 長野市県町532-3
 電話 (026)235-3325
 F A X (026)235-8733



まつしろ



ぞうざんぐち



いわの



あめのみや



ひがしやしろ



やしろ